

**麻酔科疼痛治療科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ
「高周波熱凝固術の治療評価(後ろ向き観察研究)」への協力をお願い**

麻酔科疼痛治療科では、神経ブロック療法を中心に様々な慢性痛の治療を行っております。神経ブロック療法の1つに痛みを伝える神経を熱で変性させることによって治療効果を得る高周波熱凝固術(保険診療)があり、薬剤を用いる従来の方法と異なり、目的の場所以外に薬が流れて副作用を起こす恐れが少なく、ピンポイントで目的の神経を狙いやすい利点があるため、積極的に行っております。

高周波熱凝固法による効果は痛みの原因疾患や痛みの程度によって様々であり、その原因を解明するためには後ろ向き研究(今までの臨床データを解析して、治療成績や患者様の自然経過を見させていただく研究)が非常に重要です。

それゆえ、当科を受診された患者さんの以前のデータを解析いたします。対象となるデータは、診療録(問診や診察所見など)、投薬内容、疾患名、処置内容、検査結果(血液検査、尿検査など)、生理検査(心電図検査、経皮的酸素飽和度、筋電図など)、画像検査(一般X線検査、CT検査、MRI検査など)、各種臨床評価指標、神経心理検査など、日常診療において行われているデータです。

この研究は、過去の診療記録を用いて行われますので、該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報には匿名化させていただき、その保護には十分に配慮いたします。当然ながら、学会や論文などによる結果発表に際しても、個人の特定が可能な情報は全て削除されます。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡いただきたいと思います。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

2013年4月3日

連絡先:岐阜大学医学部附属病院 麻酔科疼痛治療科 飯田宏樹/吉村文貴

電話:058-230-6404